

自分自身に誇りを持ち、自他を尊重し、未来を切り拓く人間の育成

伊里中だより

夢の中へ

令和8年7月17日
備前市立伊里中学校

校 訓
自律・愛・創造

充実した夏休みを!!

今年は梅雨明けが平年より早く、早くも本格的な夏がやってきました。今日は1学期の終業式で、1学期の締めくくりです。生徒の皆さんにとって1学期はどうでしたか。授業や生徒会活動、部活動、体育会などの学校行事に全力で取り組めた人は多かったのではないかと思います。明日からは45日間の夏休みに入ります。**この45日間をどのように過ごすかが大切です。この夏、自分ががんばりたいことを明確にして、計画的に取り組んでいきましょう。**2学期の始業式には、少し成長した姿を見せてください。皆さんに会えるのを楽しみにしています。



安全水泳教室（1年）

1年生では保健体育の授業で水泳に取り組んでいます。6月末～7月初めにかけて計4回、伊里小学校のプールをお借りして水泳実習を行っています。7月1日（水）には、備前警察署や伊里交番より警察の方に来校して頂き、「安全水泳教室」を行いました。当初の計画では、講義とプールでの実演を行う予定でしたが、天候不良のため体育館での講義となりました。実際に起こった事例を紹介されながら、水難事故の危険性について分かりやすく説明してくださいました。自分が溺れたときどうすればよいか、溺れている人がいたらどうすればよいか、などについて対処法を学びました。そして、溺れたときの対処法についてペットボトルを使って実演しました。**夏休みには、プールなどで泳ぐ機会があると思います。水難事故には十分注意するとともに、「危険な場所には行かない」ということを心がけて欲しいと思います。**



論語学習

伊里中学校では、年間を通じて論語を学ぶ機会を設けています。中学校区内に国の特別史跡・日本文化遺産に指定されている「閑谷学校」があることから、以前より論語学習に力を入れています。当時の閑谷学校では、孔子の教えである論語などを中心とした儒学を学んでいました。中学校では、月に1回、生徒朝礼の中で論語を学んでいます。7月7日（火）には、講師に立花尚先生をお呼びして論語を学びました。今月の論語は



子曰わく、 学びて思わざれば 則ちくらし。
思いて学ばざれば 則ち殆うし。

【訳文】

孔子が言われた。

教わるばかりで、自分の頭で考えようとしなければ 物事ははっきり見えてこない。自分で考えるばかりで、教わることをしなければ、自分の判断に陥って危険である。

この論語は、「人から学ぶこと、自分自身が思うこと、両方のバランスが大切だ」ということです。論語から学ぶことは多いですし、学んだことを生活の中で生かすことができます。論語を学ぶ意義は大きいと思います。学んだ論語は、毎日クラス全員で朗読

しています。また、12月には、「論語ウィーク」を設定し、論語かるたや論語検定を取り組む中で、論語を深めています。この論語の学びを通して、より良く生きる考え方を学ぶとともに、論語が学べる環境があることに誇りを持ってほしいと思います。

人権の取組

7月7日(火)の給食時間に人権擁護委員の方が来られました。「人権擁護委員」とは、地域で人権相談や啓発活動を行う民間ボランティアの人達のことです。今回は、各教室をまわって、「こどもの人権 SOS ミニレター」「人権作文」について説明してくださいました。**伊里中学校が、みんなが安心して生活できる場所になるように、一人一人が気をつけていきましょう。**人権擁護委員の皆様、いつも見守ってくださってありがとうございます。



小中あいさつ運動

7月10日(金)7:40~8:00まで伊里小学校の校門付近であいさつ運動を行いました。これは、小中一貫の取り組みで、毎月10日に中学校の生徒会執行部の生徒が伊里小学校に行きあいさつ運動を行っています。また、生徒会執行部では毎週水曜日に中学校の校門付近であいさつ運動も行っています。最近、地域の方より「中学生が大きな声であいさつをしてくれる」と言われることが多いです。非常にありがたいことで、このような取り組みの成果ではないかと思います。このような取組は「伊里小学校・中学校一貫教育研究計画」に従って進められています。伊里中学校区でどのような児童生徒を育てていきたいかを目標にした「目指す児童生徒像」を掲げて、様々な活動に取り組んでいます。今年度の、目指す生徒像は



確かな学力・豊かな心・健やかな体で、郷土を誇りに思う伊里の子どもたち
～学校・家庭・地域の総合力を基盤にして～

1学期には、小中で合同研修会を開催したり、小学校の先生が中学校の授業を参観して下さったりしました。2学期以降も、小中交流会などを企画しています。**「郷土を誇りに思う」そんな子どもたちを育てて行けたらと思います。引き続き、温かく見守っていただければと思います。**

編集後記

本日無事に1学期の終業式を迎えることができました。保護者の皆様には、平素より本校の教育活動に対してご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。至らぬ点は2学期に生かしていけたらと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。さて、明日から夏休みに入ります。学校よりも、家庭や地域で活動することが多くなると思います。「地域」といえば、先日、2年生の道徳の時間に地域について考える機会がありました。道徳の題材は「ヨコスカネイビーパーカー」。横須賀市の高校生6人が町を盛り上げるために、横須賀市らしいオリジナルパーカーをつくるというお話でした。町を盛り上げたい、もっと住みやすい町にしたい、という熱い気持ちが高校生を突き動かしました。生徒たちに「自分たちの住んでいる町をどう思うか。」を尋ねてみると「自然が豊か」「平和」「閑谷学校などの文化遺産がある」「店が少ない」「田舎」「交通が不便」などさまざまな意見がありました。授業の振り返りに「みんなが過ごしやすい町にしたい。」と思ってくれる生徒もいました。できれば生徒達には、道徳の題材の中に出てきた高校生のように、自分の町を好きになってもらいたいと思います。伊里中学校の目指す生徒像の1つに「地域を愛し、大切に作る生徒」を掲げています。「地域を愛するには、まずは地域のことをよく知ろう」授業の最後に伝えました。道徳の時間を通して、「地域」のことについて少し前向きに考えてくれる機会にはなったのではないかと思います。夏休みには地域の行事等もあると思います。そのような場面に子ども達が登場することが増えてくれればと思っています。**「2学期の始業式を全員で元気に迎える」ことを終業式で確認しました。ご家庭でも、お子様の様子をしっかり見守っていただければと思います。2学期もどうぞよろしくお願い致します。**